

拠点施設に求められる機能

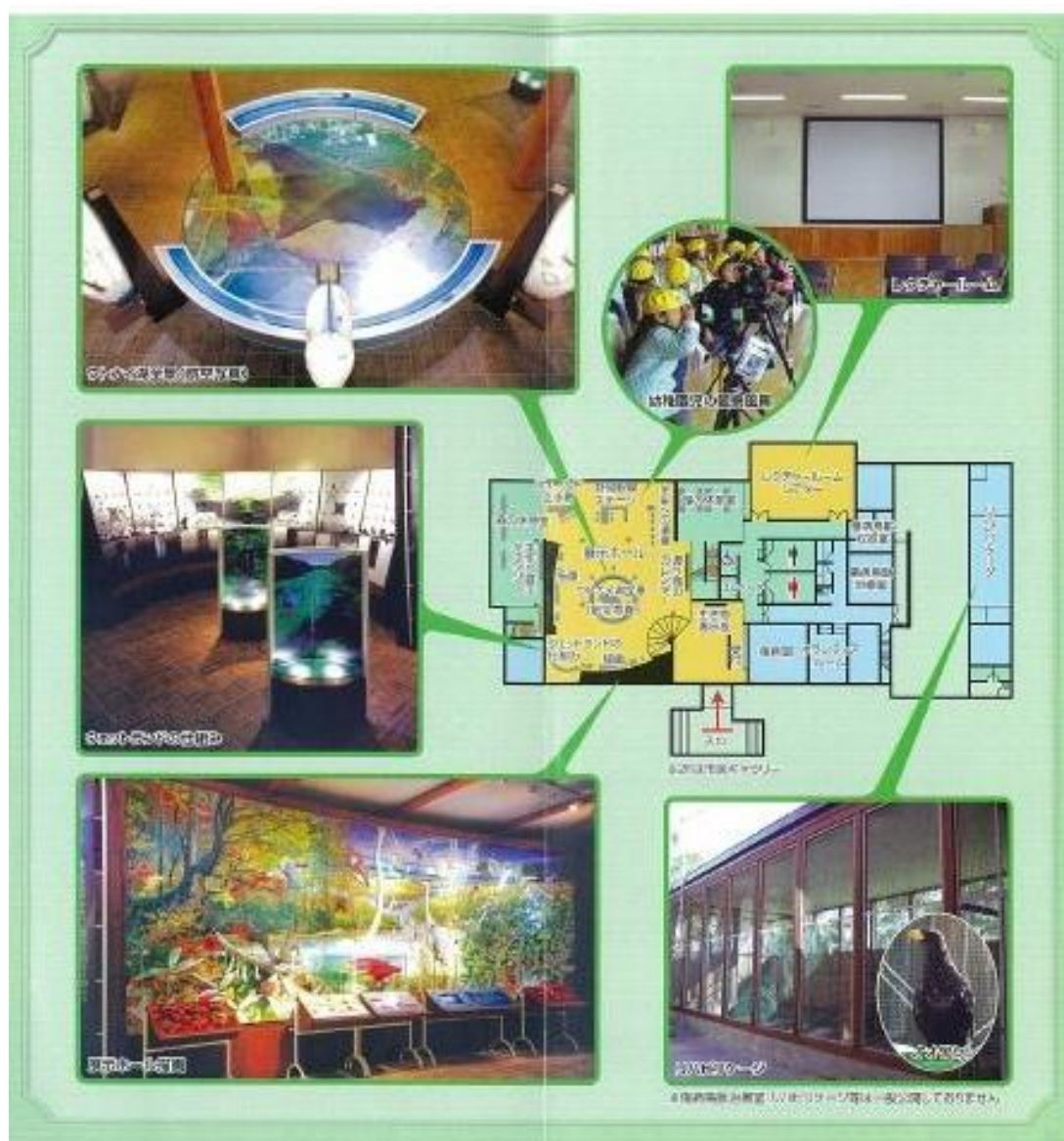
- ・展示
- ・観察
- ・レクチャー
- ・地域やボランティア活動などへの支援などができる場所の提供
- ・(濤沸湖で見つかった) 傷病鳥獣の一時収容

環境学習展示例

宮島沼水鳥・湿地センターの例



ウトナイ湖野生鳥獣保護センターの例



2 これまでの設置検討経緯

濤沸湖周辺 5カ所での検討

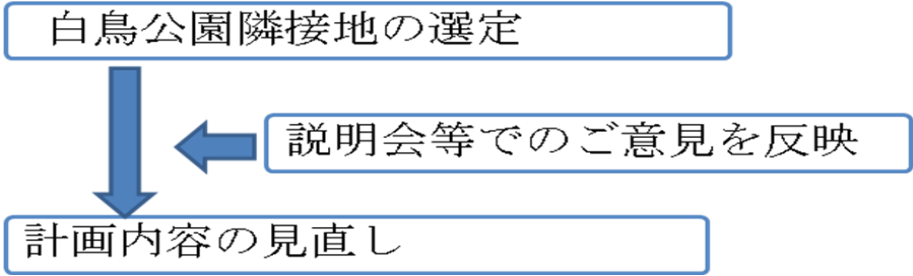


北浜地区を選定



北浜地区内での位置の検討





・ 濤沸湖周辺 5カ所での検討

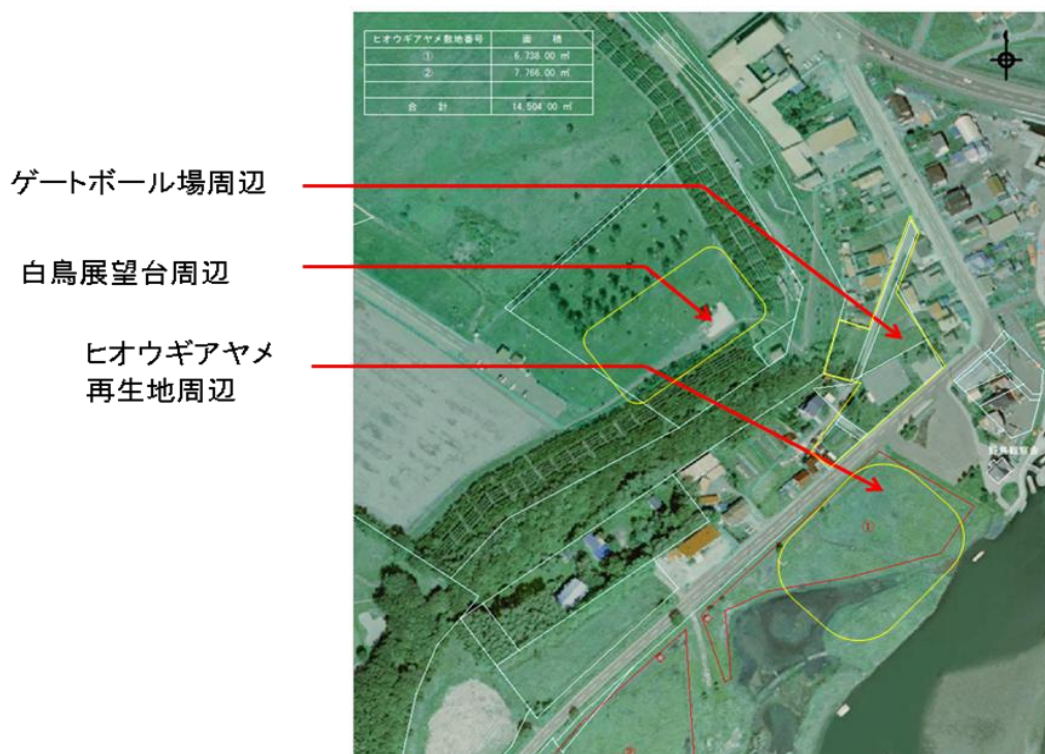


地点	特 徴
A	インフラ整備、既存施設との連携、野鳥・植生観察には好適
B	インフラ不備、野鳥観察には配慮必要
C	インフラ不備、野鳥観察には配慮必要
D	インフラ不備、野鳥観察には不便
E	インフラ整備、野鳥観察には好適

北浜地区の主な選定理由

- ・ 電気、上下水道、道路のインフラが整備済
- ・ 白鳥公園との連携した利用が可能
- ・ 野鳥や湿地植生の観察が行いやすい
- ・ 交通アクセスが比較的容易

北浜地区内での候補地検討



位置	特徴	課題
ゲートボール場周辺	白鳥公園と道路を挟んだ向かい	市有地だけではなく民有地及びアクセス用道路（私道）の取得が必要 この場合私道部分の通行を阻害する 観察者の道路横断が増えることは交通安全上不向き
白鳥展望台周辺	北浜地区を見下ろす高台の上 パークゴルフ場と展望台が整備されている	水辺から遠い高台に位置し水鳥や湿地の観察に不向き 白鳥公園の一体的利用が困難 パークゴルフ場の利用を阻害
白鳥公園周辺	用地が水鳥観察舎周辺かアヤマ再生地に該当	アヤマについては住民による再生活動が行われてきた。 湿地的なエリアを含み一部には希少植物も生育

白鳥公園周辺を選定した主な理由

- 白鳥公園との連携した利用が容易
- 立地上水鳥・湿地観察に優位
- 観察者の動線・誘導に対応しやすい
- アヤマの保全については移植で対応可能